

視覚障害学生と一緒に学ぶ学生の皆さんへ

視覚障害学生と共に学生生活を送る上で知っておくとよいことを下記の通り、まとめましたので、参考にして下さい。

1. 色のことも、景色のことも、テレビのことも話題にしてかまいません。なんでも、普通に話して下さい。
2. 聞くことや触ることによって、多くの情報を得ることができます。一緒に歩いている時などには、状況を説明したり、いろいろなものに触れさせてあげてください。
3. 誘導するときは、下図の基本姿勢を参考にして下さい。安全な場所では普通の早さで歩いて構いませんが、階段の始まりや段差のあるところ、溝をまたぐときなどは速度を落とし、声をかけて下さい。
4. 誘導するときは、まず声をかけて下さい。いきなり手を取られると驚きます。
5. 一緒に歩いてきて別れる時には、その場所がどこなのか説明し、場所を理解していることを確認してから別れて下さい。
6. 廊下に荷物が置かれていたり、工事中で道路が変更されているときなど、普段と様子が違う場所では不安になったり、危険だったりします。何か普段と違う状況に気づいた時には知らせて下さい。
7. ものを手渡す時は声をかけて渡して下さい。また、挨拶をするときや話しかけるときには、まず本人の名前を呼び、自分の名前も伝えて下さい。
8. 本大学には、障害学生の為の支援制度があります。関心のある学生には障害学生サポーターになってもらい、大学がその学生にアルバイト費用を払う制度です。

視覚障害学生の具体的な補助内容は、教材点訳の手伝い、資料の読み上げ、視覚障害学生がパソコンで書いた普通文字文書の校正・レイアウト等です。点字を知らなくても出来ます。また、聴覚障害学生の講義をサポートするノートテイクも募集しています。

希望の方は障害学生支援室 (aca-notetake@hyogo-u.ac.jp) までお声がけ下さい。

移動介助の基本姿勢

視覚障害学生が、誘導者の肘関節の少し上を軽く持ちます。こうすると誘導者が半歩前を歩くことになり、安全です。誘導者が視覚障害学生を後ろから押したり、前から腕や白杖を引っ張ったりしてはいけません。

